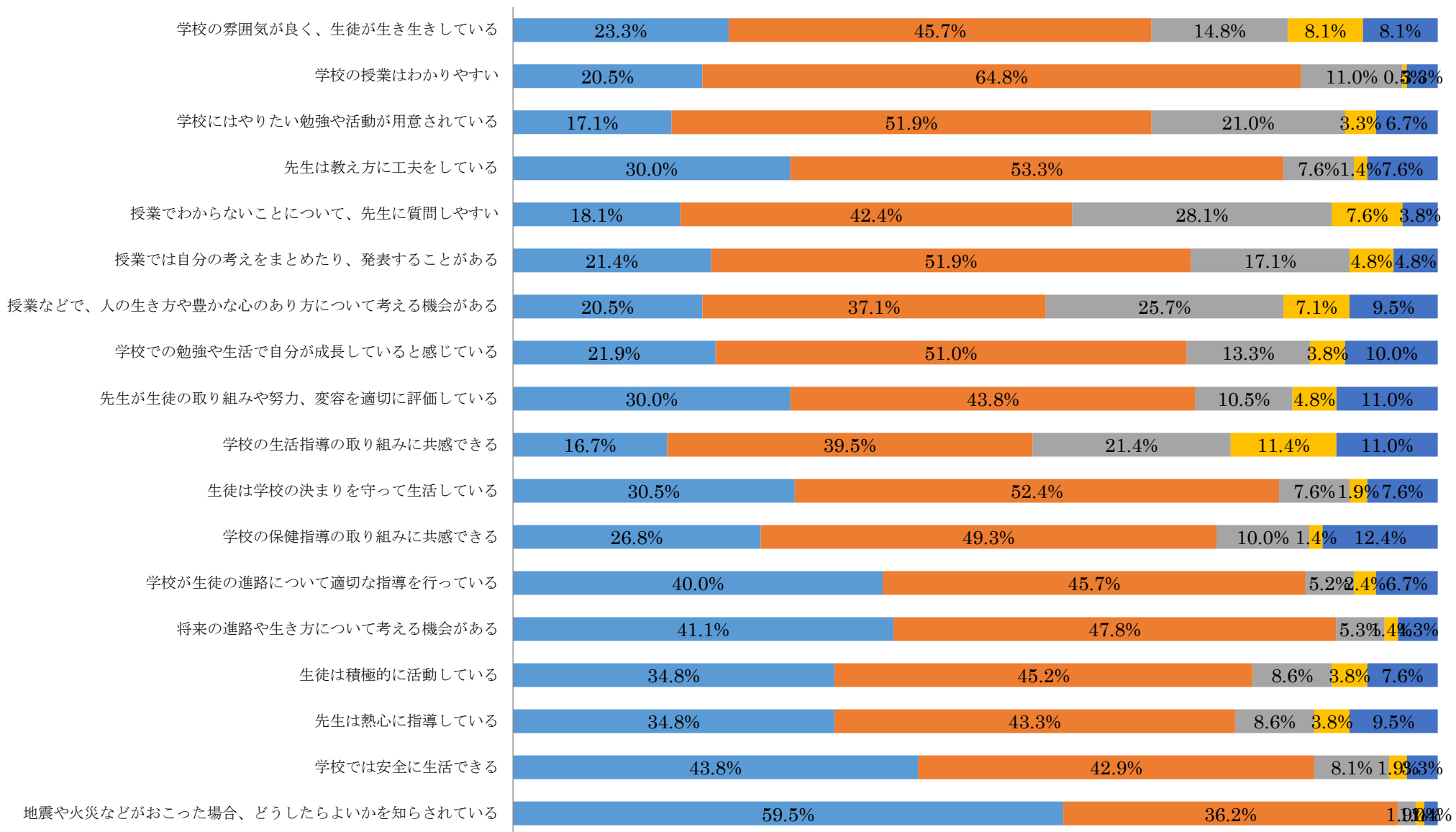


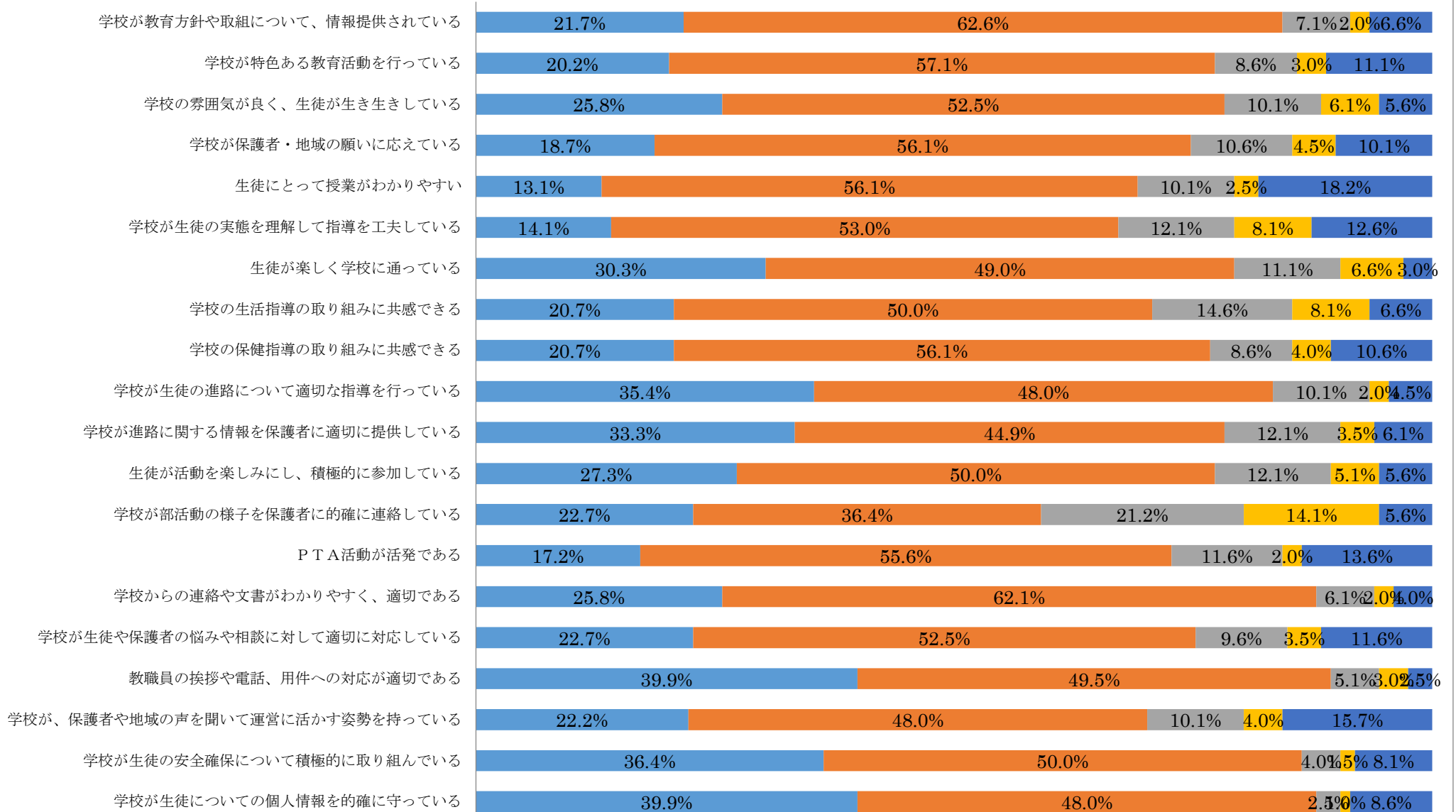
H29学校評価（生徒全体集計）

■ 良く出来ている ■ だいたい出来ている ■ あまり出来ていない ■ 出来ていない ■ 分からない



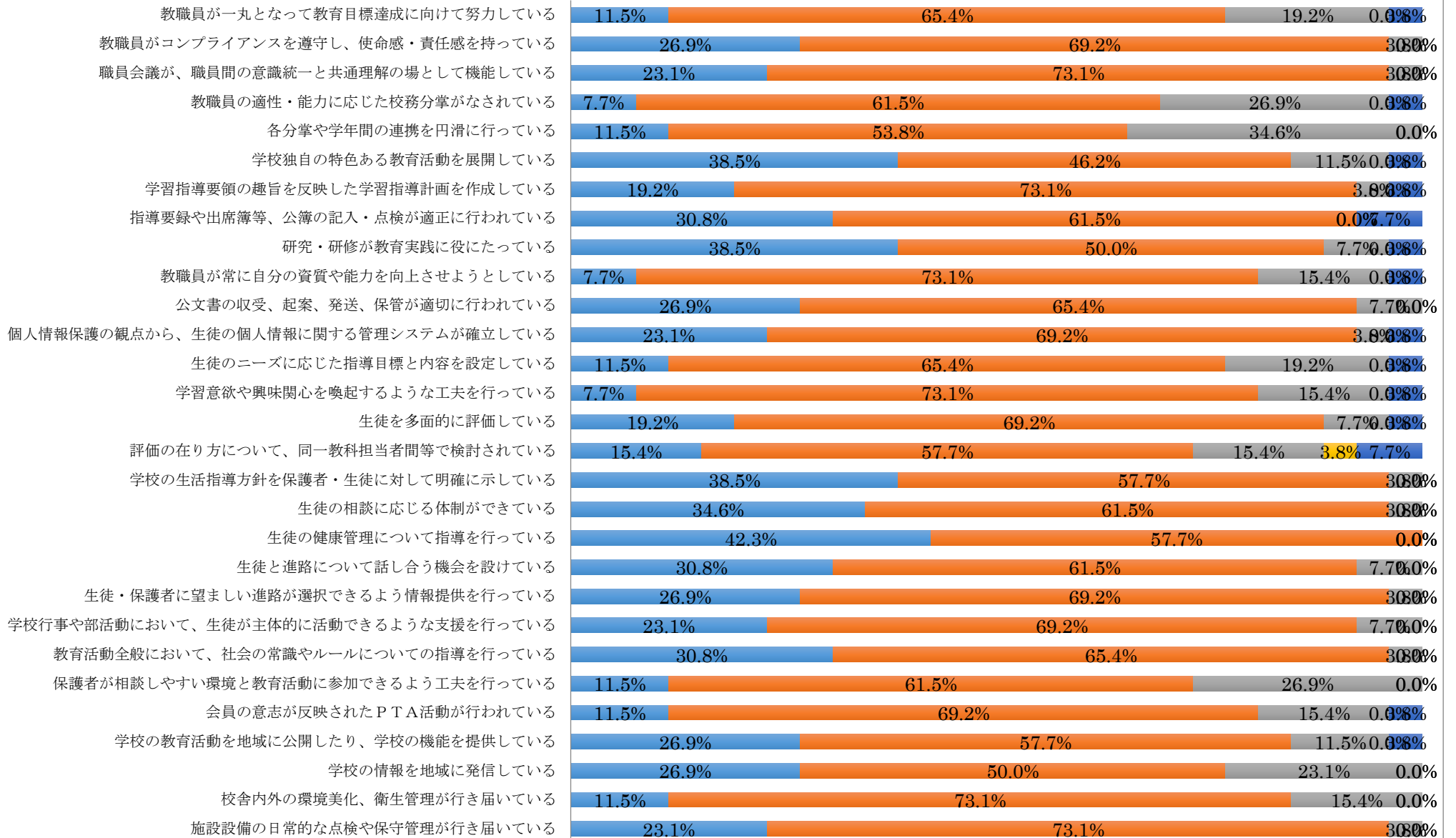
H29学校評価（保護者全体集計）

■ 良く出来ている ■ だいたい出来ている ■ あまり出来ていない ■ 出来ていない ■ 分からない



H29学校評価（職員）

■ 良く出来ている ■ だいたい出来ている ■ あまり出来ていない ■ 出来ていない ■ 分からない



平成 29 年度 大槌高校学校評価アンケート集計結果

【生徒全体集計】

全体では評価「5」の割合が H28 22.2%から H29 29.5%と7ポイント上昇している。個別に見ると評価@「5」と「4」の占める割合が昨年度に比べ13ポイント上昇した「学校が生徒の進路について適切な指導を行っている」をはじめとして6項目で昨年度比10ポイント上昇している。その中で4項目が「授業・学習」の分野で占められている。これは日々地道に授業改善に取り組んできた努力が生徒達に認められた結果と受け止めたい。その一方で12「学校の生活指導の取組に共感できる」7「授業などで、人の生き方や豊かな心のあり方について考える機会がある」5「授業で分からないことについて、先生に質問しやすい」がワースト3であった。昨年度もワースト3は同じであった。昨年度比では「5」「4」の肯定的な評価は増えているが、来年度への課題として早急に取り組むべき課題である。

【保護者全体集計】

全体的に評価「5」、「4」が昨年度比2.4ポイントの微増であった。17「教職員の挨拶や電話、用件への対応が適切である」15「学校からの連絡や文書がわかりやすく、適切である」20「学校が生徒についての個人情報を的確に守っている」19「学校が生徒の安全確保について積極的に取り組んでいる」1「学校が教育方針や取組について、情報提供されている」10「学校が生徒の進路について適切な指導を行っている」の6項目で肯定的な評価が80%を超えた。本校の進路指導については生徒・保護者とも肯定的に捉えているようだ。最も低かったものは昨年度に引き続き13「学校が部活動の様子を保護者に的確に連絡している」であった。学級・学年通信やPTA会報、同窓会報などで成績等は掲載しているが、個々の活動を伝える場はやはり少ないかもしれない。来年度は工夫してみたい。

【職員全体集計】

評価「5」、「4」が昨年度比6ポイントアップの86.6%を占めた。一方で「2」の評価が0.1%となっており、全体的に高い評価であった。29項目中10項目で「5」「4」の評価が90%を越えた。「生徒の健康管理について指導を行っている」は全員が高評価であった。6「学校独自の特色ある教育活動を展開している」9「研究・研修が教育実践に役にたっている」21「生徒・保護者に望ましい進路が選択できるよう情報提供を行っている」も高い評価であった。進路指導については生徒・保護者・職員の意見がほぼ一致している。17「学校の生活指導方針を保護者・生徒に対して明確に示している」職員間では評価が高いが、生徒の共感を得ているとは言いがたい。毎月の整容点検の中で丁寧に指導を重ねて理解を得る努力が必要だ。